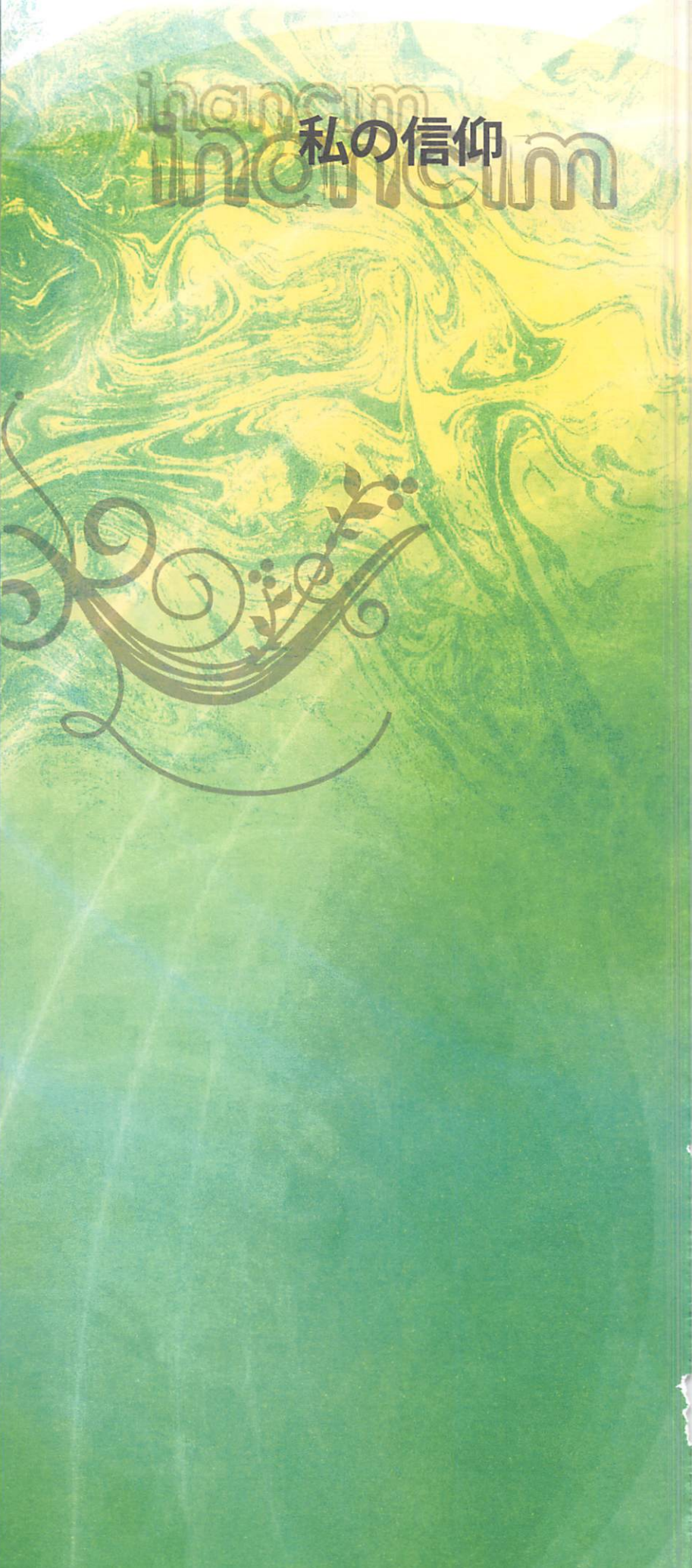


inansim
inansim
私の信仰



单元
5





天使たちへの信仰

1. 天使たちの特徴
2. 天使たちの役割
3. 天使以外の目に見えない存在



単元について

この単元では、

- 私たちはこの世界を多くの他の被造物たちと分かち合っています。そのあるものは目で見ることができますが、あるものは私たちには見ることはできません。この単元では、目に見えない存在について取り上げていきます。
- 目に見えない存在のうち、まず天使たちの特徴とその役割について説明していきます。
- さらに、その他の目に見えない存在であるジンとシャイターンについても言及します。ジンに関する迷信についてどのようなものがあるか、またそれらの害について言及します。
- クルアーンでシャイターンがどのように説かれているかを示し、シャイターンを崇拝することの過ちについて触れます。

学習目標

この単元を終えたときには、下記のような目標に到達することができます。

1. 目に見えない存在の名前を言う。
2. 目に見えない存在のそれぞれの違いを説明する。
3. 天使の特徴を説明する。
4. 天使の務めを説明する。
5. クルアーンをもとに、ジンの特性を把握する。
6. ジンについての迷信にはどのようなものがあるかを理解する。
7. これらの迷信がなぜ誤りであるかを理解する。
8. ジンについての迷信を批評する。
9. クルアーンをもとに、シャイターンの特徴を説明する。
10. シャイターンからどのように身を守るかを理解する。
11. サタニズムが誤った信条であることを説明する。

学習時には

1. 単元の冒頭に掲げられた目標に到達できているかどうかを確認しましょう。到達できていない項目を再び読んでみましょう。
2. 単元の中で取り上げられている研究、観察は必ず実行してください。
3. 巻末にあげてある文献の中で入手可能なものは実際に読んでみてください。



「そこには厳格で痛烈な天使たちが（任命されて）いて、かれらはアッラーの命じられたことに違犯せず、言い付けられたことを実行する」（禁止章第6節）

1

天使たちの特徴

天使を信じること：私たちの周囲には非常に多くのものが存在しています。それらの中のあるものを私たちは目で見ることができますが（例えば石、土、家など）、他のあるものは何らかの媒介を通して見るのが可能となります（細菌、バクテリア、銀河など）。またあるものは、直接目で見ること、何らかの媒介を通して見ることもできません。しかしこの世界に存在し、目で見ることのできないいくつかの存在も私たちは信じています。それらの存在の中の一つが天使です。

天使を信じることは、イスラームの基本的な信条の一つです。クルアーンでは、アッラーへの信仰と天使たちへの信仰が同じ箇所而言及されています（雌牛章第285節、婦人章第136節）。

天使は、使い、使者、また力といった意味になります。

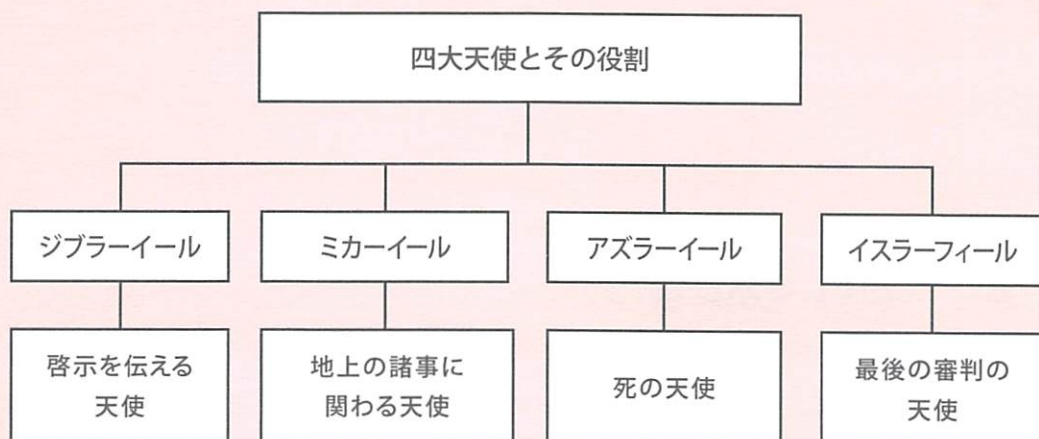
- 天使は光から創造された存在です。
- クルアーンでは、人間は土から、ジンとシャイターンは炎から創造されたとされています。しかし天使が何から創造されたのかは明記されていません。
- 天使が光から創造されたことは、預言者ムハンマドが教えてくださいました（アフマド、ムスナド、6/158 ムスリム、ズフド10、(60)、3/2294）



天使たちは飲食、睡眠、結婚、また男女の差といったものから遠い存在です（夜の旅章第40節、整列者章第150節、金の装飾章第19節）

「（それでも）慈悲深き方のしもべである天使たちを、女性とするのか。これらの（天使）の創造を証言できるのか。かれらの証言は記録され、（審判の日に）糾問されよう。」（金の装飾章第19節）

四大天使とその役割



天使とは何か

アッラーの天使たちは

光から創造された存在である

地上を覆い、

奉仕に誠実である

天使たちは飲み食いせず

女性も男性もない

彼らは分をわきまえ、

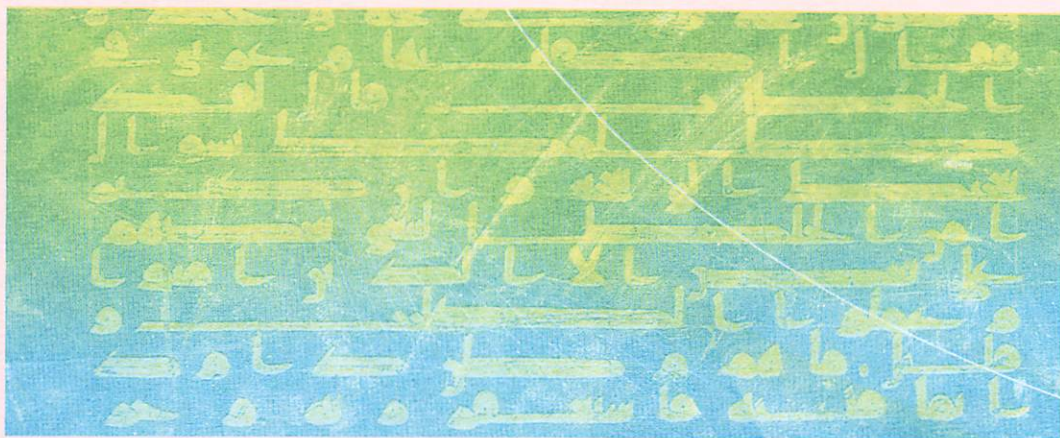
多くの役割を果たしていく

(トゥンチュアルプ, 36)



考えてみましょう

上記の詩をもとに天使たちの特徴について説明しましょう。



2

天使たちの役割



- 天使たちはまず、アッラーが彼らに与えられた役割を不足なく実践します。
- この役割の最たるものとして、人間への援助、世界で起きる出来事について責任を持ちその務めを果たすことが挙げられます。
- アッラーが人間と関わられる際の手段の一つが天使です。
- 天使たちがアッラーの啓示を預言者たちに届けます。

ジブラーイール

ジブラーイールは啓示の天使です。



「かれはそのしもべの中の、御心に適う者に、かれが命じられた啓示を持たせて、天使を遣わされ（こう仰せられた）。われの外に神はないのである。だからわれにあなたがたの義務を果たすよう勧告しなさい。」（蜜蜂章第2節）

ジブラーイール
アッラーに最も近く
四大天使のうちの一人である
アッラーの命令を
預言者たちにもたらず
この世界の地平線を慈悲であふれさせる泉である
(トゥンチュアルプ, 41)

ミカーイール

アッラーの命令により、地上の諸事に関わる事柄を受け持つ天使たちがいます。これらを受け持つ大天使がミカーイールです。

ミカーイール
風、雨、恵みが
彼の奉仕の場
祖国は生命を見出し
彼は畑を緑に染める
糧を裁量されるのは
疑いもなくアッラーであり
その分配を行うのが
ミカーイールなのである
(トゥンチュアルプ, 43)

アズラーイール

アッラーの命令により、寿命が来た人の命を取る役割を持つ天使たちがいます。この役割を負う大天使がアズラーイールです。



クルアーンでは、次のように説かれています。「言ってやるがいい。あなたがたを受け持つ死の天使があなたがたを死なせ、それから主に帰らせる。」（アッ・サジダ章第11節）

アズラーイール
 生きる者はすべて
 必ず死を味わう
 定められた交代
 アッラーがそれを命じる
 死には何の疑念もない
 それが神の絶対的な命令であることを知りなさい
 この重い奉仕を
 受け持つのがアズラーイールである
 （トウンチュアルプ, 41）

78

イスラーフィール

アッラーから天使たちに与えられた役割の一つが、最後の審判が訪れる際にそれを告げることで、この役割を果たす天使が、イスラーフィールです。



「ラッパが吹かれると、天にあるものまた地にあるものも、アッラーが御望みになられる者の外は気絶しよう。次にラッパが吹かれると、見よ、かれらは起き上って見まわす。」（集団章第68節）

イスラーフィール
 イスラーフィールもまた
 立派な正しい天使
 審判の日のために必要な
 務めを受け持つ
 ついに命令を受けた時には、
 ラッパを吹く
 そして最後の審判が行われる
 これは疑いもない真実なのだ
 （トウンチュアルプ, 44）

その他の天使たちと役割

前述の四大天使以外にもアッラーによって特別な役割を与えられている天使たちがいます。

守護天使（ハファザ）

人間を守る役割を持つ天使です。人間を良い方向へ導き、悪事を避けさせるよう努めます。いつでも身近に私たちを守る天使がいることを知ることは、私たちに安心感を与えます。また自分たちの行動に気をつけるようにもなります。天使たちはアッラーの命令によって人間をの助ける親しき友なのです。



「本当に、『わたしたちの主は、アッラーであられる』と言って、その後正しくしっかりと立つ者、かれらには、（次から次に）天使が下り、『恐れてはならない。また憂いてはならない。あなたがたに約束されている樂園への吉報を受け取りなさい。』（と言うのである）。われは現世の生活においても、また来世においても、あなたがたの友である。そこではあなたがたの魂は望むものを得、そこではあなたがたの求めるものが得られる。」（フッスィラ章第30-31節）

記録天使（キラーマン、カーティビーン）

人間の行動を観察し、善行や悪事を記録する天使です。



「本当にあなたがたの上には2人の看守（天使）がいるが、かれらは気高い記録者で、あなたがたの所行を知っている。」（裂ける章第10-12節）

「見よ、右側にまた左側に坐って、2人の（守護の天使の）監視者が監視する。」（カーフ章第17節）

尋問の天使（ムンカル・ナキル）

尋問の天使たちは、墓で尋問を行う役割を担っています。



考えてみましょう

天使を信じることは、私たちの行動にどのような影響を与えるでしょうか。

3

天使以外の目に見えない存在



クルアーンにおけるジン

- 崇高なる書クルアーンは、ジンが存在することを私たちに教えています。ただし、どのような存在であるかについての詳しい説明はありません。
- クルアーンではジンについて言及されており、さらには「ジン」の名の付いた章も存在します。
- ジンはアッラーによって創造された被造物です。クルアーンでは「また火の炎からジン（幽精）を創られた」（慈悲あまねく御方章第15節）とされています。ここから理解される通り、ジンは炎から創造されたものです。



人間と同様、アッラーを知り、アッラーに崇拝行為を行う責任を負います。「ジンと人間を創ったのはわれに仕えさせるため」（撒き散らすもの章第56節）

ジンと預言者たち

ジンにも預言者が遣わされています。「ジンと人間の方々よ、あなたがたの間から挙げられた使徒たちが、あなたがたの許に来て、わが印をあなたがたのもとに復唱し、あなたがたのこの日の会見に就いて、警告しなかったのか」（家畜章第130節）

ジンにも自分たちに遣わされた預言者たちの警告を信じる者と、信じない者が存在します。「言え、『わたしにこう啓示された。一団のジンが（クルアーンを）聞いて言った。わたしたちは、本当に驚くべき読誦を聞いた。正しい道への導きである。だからわたしたちは信仰し、主に何ものをも配さない。』」（アル・ジン（幽精）章第1-2節）

ジンにも、よいジンと悪いジンが存在します。悪いジンからはアッラーに庇護を求めなければならぬのです。



考えてみましょう

- ジンの悪事から身を守るために何をすべきでしょうか。
- 「人間章」の意味を説明してください。

ジンにまつわる迷信

霊を呼び出す

- ジンは目に見えない存在であるため、ジンにまつわる多くの誤った信条や考えがあります。これらの考え方の多くが迷信です。私たちはジンについて、クルアーンが教えているもののみを信じます。
- ジンについての迷信は、霊を呼び出すこと、占い、まじない、魔術などです。
- 一部の人は集まって、降霊術を行い、その霊と話をし、彼らから現在もしくは未来についての情報を得たと言います。その情報によって生き方を変えたり、物事を決めたりしようとするのです。
- 死んだ人の霊が再びこの世界に戻ることは絶対にないとクルアーンには書かれています。
- 霊が、生きている人と交信するなどといったことはクルアーンやハディースには記されていません。それゆえイスラームでは降霊術によって得られた情報を信頼し、それによって物事を決めたり、行動したりすることは禁じられています。



魔術・まじない

- 神聖なイスラームの教えでは、魔術やまじないを行うことは固く禁じられています。
- 預言者ムハンマドは、魔術やまじないに関わることを大きな罪の一つとして挙げられました。
- 魔術やまじないといった迷信からは遠ざからねばなりません。
- 私たちの力で制することができないような危険や悪事からは、いつでもアッラーに庇護を求めるべきなのです。



「言え、『黎明の主にご加護を乞い願う。かれが創られるものの悪（災難）から、深まる夜の闇の悪（危害）から、結び目に息を吹きかける（妖術使いの）女たちの悪から、また、嫉妬する者の嫉妬の悪（災厄）から。』」（黎明章 第1-5節）

「われは現世の生活においても、また来世においても、あなたがたの友である」（フッスイラ章第31節）

占い（ファル）

- 人々の間でよく知られている迷信の一つが、占い（ファル）です。占いは、未来を知り、運、運勢を知るために行われます。例えば紙やトルココーヒーの沈殿物、手のひらなどを見てそこから何かを読みとろうとします。それを行う人は占い師と呼ばれます。
- 占い師は、人々が現在や未来を知り、何が起こるかを知りたいという気持ちを利用します。こうした興味を喚起させ人々を欺くのです。しかし人間が未来に起こることを知るのはまったく不可能なことです。
- 預言者たちですら、アッラーが彼らに知らされたことのみを知ることができました。実際、預言者ヌーフは周囲の人々に、



「わたしはあなたがたに向かって、わたしがアッラーの宝物をもっているとも、幽玄界を知っているとも、またわたしは天使であるとも言わない」（フード章第31節）と話しています。

- 占いは、真実を理解する妨げとなります。それゆえ占い師の話すことを根拠に行動した人々の多くが、後で悲しみに暮れることになるのです。

占いと搾取

- 占い師は、人々のお金、時間、感情といったものを巧みに利用し搾取します。それによって不正な利益を得るのです。
- イスラームでは、占いや予言といったものに従事すること、あるいはそれらに従事する人々と関わるのが禁じられています。



「あなたがた信仰する者よ、誠に酒と賭矢、偶像と占い矢は、忌み嫌われる悪魔の業である。これを避けなさい。恐らくあなたがたは成功するであろう」（食卓章第90節）



考えてみましょう

魔術やまじないの害にはどのようなものがあるでしょうか。

クルアーンにおけるシャイターン

- 目に見えない存在の一つがシャイターンです。
- シャイターンの、クルアーンでの名称はイブリースです。
- シャイターンは、その存在がクルアーンで明らかにされている、人々を正しい道から逸脱させようとする被造物です。
- シャイターンは悪事の象徴です。
- シャイターンは人間に、自らの行いを魅惑的に見せ彼らを正しい道から逸脱させるのです。
- 人の中には、時としてシャイターンとなるものもいます。



「悪魔はかれらに、自分の所行を立派であると思わせ、立派な見識を与えられていたのに、正道から離反させる結末となった」（蜘蛛章第38節）

シャイターンは、人々を互いに対立させ、敵対させ、仲たがいさせ、善行を施すことから遠ざけようとします。



「悪魔の望むところは、酒と賭矢によってあなたがたの間に、敵意と憎悪を起こさせ、あなたがたがアッラーを念じ礼拝を捧げるのを妨げようとすることである」（食卓章第91節）
「これは悪魔の仕業である。本当にかれは、人を惑わす公然の敵である」（物語章第15節）

悪事を通して人間を正しい道から逸脱させようとするシャイターンは、自らを創造したお方に対しても恩を知らず反抗的です。「悪魔は主に対し恩を忘れる」（夜の旅章第27節）



考えてみましょう

上記の章句からわかるシャイターンの特徴とは何でしょうか。説明してください。



「悪魔は、かれら（不信者）との間に（紛争の）種を蒔く。本当に悪魔は人間の公然の敵である」（夜の旅章第53節）

シャイターンからアッラーに庇護を求める

シャイターンから身を守るためにアッラーを信頼しましょう。人間の敵であるシャイターンから身を守るために、何より崇高な主であるアッラーを信頼すること、アッラーをよりどころとしなければなりません。なぜならアッラーを信じ、信頼している人に、シャイターンは害を与えることができないからです。そのことはクルアーンで次のように説かれています。



「信仰して主に縋る者に対しては、（悪魔）はどんな権威も持たない。（悪魔）の権威は、只かれを保護者とした者、そしてかれに同位者を配した者の上に及ぶだけである」（蜜蜂章第99-100節）

シャイターンから身を守るためには、善行を施し、すべての行いにおいてよく振り舞い、アッラーが禁じられたことを避け、命じられたことに従わなければならないのです。



「人びとよ、地上にあるものの中良い合法的なものを食べて、悪魔の歩みに従ってはならない。本当にかれは、あなたがたにとって公然の敵である」（雌牛章第168節）

シャイターンから身を守るために知性と理性を用いること。アッラーは人間に理性と意志を与えられました。預言者と啓典を送られ人間に警告を与えられました。人は理性と意志を用いて良いことを行うことができます。そしてシャイターンの悪や唆しから遠ざかることができるのです。シャイターンの悪から遠ざかるためには、私たちが与えられた義務を果たし、アッラーに庇護を求めなければならないのです。



「言え、『ご加護を乞い願う、人間の主、人間の王、人間の神に。こっそりと忍び込み、囁く者の悪から。それが人間の胸に囁きかける、ジン（幽精）であろうと、人間であろうと』（人間章第1-6節）

悪魔崇拝（サタニズム）

シャイターン

シャイターンは自惚れが強く、人間が創造されたとき、サジュダ（平伏礼）するようというアッラーの命令に従わず、神の御前から追放されました。それゆえ人間の敵となったのです。しかし、シャイターンは自分が神であるとの主張はしませんでした。それにもかかわらず一部の人は、シャイターンを神格化し崇拝し始めたのです。



「アーダムの子孫よ、悪魔に仕えてはならないと、われはあなたがたに命令しなかったか。かれはあなたがたの公然の敵である。あなたがたはわれに仕えなさい。それこそ正しい道である。確かにかれ（悪魔）はあなたがたの大部分を迷わせた。どうしてあなたがたは悟らなかったのか」（ヤー・スィーン章第60-62節）

サタニズム

今日、シャイターンへの崇拝をサタニズム、シャイターンを崇拝する人をサタニストと呼びます。サタニストはシャイターンを神と見なし崇拝します。サタニズムの歴史は中世にまで遡ります。

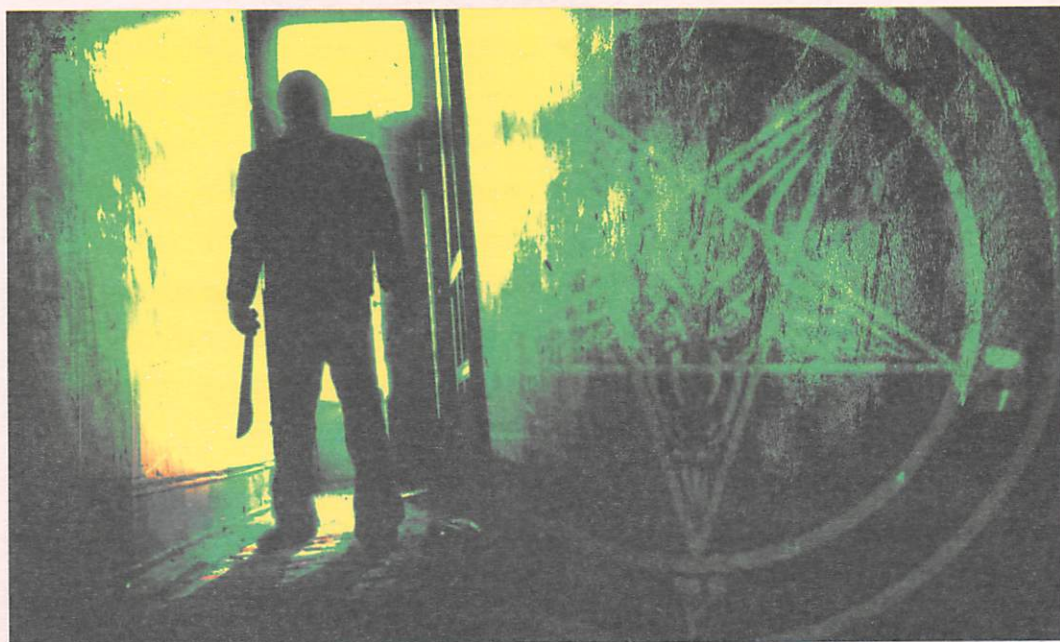
中世、魔術師たちは14世紀から16世紀にかけて、シャイターンを崇拝したとして罰せられていました。サタニズムはまずキリスト教会で現れ広まっていったのです。

サタニズムはキリスト教を始めとするすべての教えと神聖な価値あるものに対立し、対抗しています。現代におけるサタニズムの概念は、1960年代にアメリカでラヴェイによって創始されたものとされています。

サタニストとその行為

サタニズムは人間を迷信と有害な行いへと導く欧米の風潮です。サタニストたちは人間を、アルコール、覚せい剤、命あるものの殺りくといったような人間性に反する行為へと誘惑します。

サタニストの儀式では人間や動物が虐待され、拷問を加えられます。時にはそれは死という結末を迎えることすらあります。しかし宗教の共通する目的は、人々の存在を守ること、社会の発展を助けることにあるのです。





考えてみましょう

サタニズムのように害のあるものから身を守るために何を行うべきでしょうか。



単元のまとめ

私たちの周囲にはたいへん多くのものが存在しています。これらのあるものは私たちの目で見ることができ、あるものは見ることはできません。しかしこの世界に存在し、目で見ることができないものも私たちは信じています。

その一つが天使です。天使は、使い、使者、また力といった意味を持っています。天使は光から創造されています。天使たちは飲食や睡眠、結婚をすることなく、男女の差もありません。

天使たちは決してアッラーに反抗しません。常にアッラーの命令に従います。彼らは自分たちに与えられた重要な務めを果たし、短時間で最も遠いところまで行くことができます。

天使たちと役割。天使を信じることは、クルアーンや預言者たちを信じることに密接な関係があります。天使には様々な役割があります。天使たちは何よりアッラーが彼らに与えられた役割を不足なく実践します。

この役割の最たるものとして、人間への援助、世界に起きる事象において責任を持つ務めを果たしています。アッラーの啓示を預言者たちに伝える天使がジブラーイールです。地上の諸事に関わる事柄を受け持つ天使がミカーイールです。寿命が来た人の命を取る役割を持つ天使がアズラーイールです。この大天使以外にも、アッラーによって役割を与えられている天使たちがいます。守護天使（ハファザ）は、人を守る役割を持つ天使です。人を良い方向へと導き、悪事を避けさせるよう努めます。いつでもそばに、私たちを守る天使がいると知ることは、私たちに安心感を与えます。また行動に気をつけるようにもなります。

目で見ることができない存在の一つがジンです。目に見えないこのジンについて、様々な信条や考え方があります。崇高な書物クルアーンは、ジンが存在することを私たちに教えています。しかしどのような存在であるかは詳しく語られていません。ジンはアッラーによって創造された存在です。クルアーンでは、ジンが火から創造されていると説明されています。ジンも人間と同様、アッラーを知り、アッラーに崇拜行為を行う責任を負っています。ジンにも、自分たちに遣わされた預言者たちの警告を信じるジンと、信じないジンが存在します。良いジンと悪いジンが存在します。悪いジンからの庇護をアッラーに求めなければならないのです。

目に見えない存在であるためジンについては多くの誤った信条や考えがあります。これらの考え方の多くが迷信です。私たちはジンについて、クルアーンが教えているもののみを信じます。ジンについての迷信は、霊を呼び出すこと、占い、まじない、魔術などです。

降霊術によって得られたことを信じ、それによって物事を決め行動することは、誤った信条による行為となります。

人々の間でよく知られている迷信の一つが占い（ファル）です。占いは、未来を知り運、運勢を知るために行われます。これを行う人は占い師と呼ばれます。占い師は、人々が現在や未来を知り、何が起こるかを知りたいという気持ちを利用します。興味や関心を喚起し、人々を欺くのです。イスラームでは占いや予言といったものに従事すること、あるいはそれに従事している人々と関わることを厳しく禁じています。

目に見えない存在の一つがシャイターンです。シャイターンは、クルアーンで明らかにされているように人間を正しい道から逸脱させようとする被造物です。シャイターンは悪事の象徴です。人間の敵であるシャイターンから身を守るためには、まず崇高な主であるアッラーを信頼しその存在をよりどころとしなければなりません。なぜならアッラーを信じ、信頼している人に、シャイターンは害を加えることができないのです。しかし忘れてはいけないことは、人間の中にはシャイターン化し得る人がいるということです。

シャイターンは自惚れによって、サジュダをするようにというアッラーの命令に従わず、神の御前から追放されました。そして人間の敵となったのです。しかし、シャイターンは自分が神であるというような主張は行いませんでした。それにもかかわらず一部の人は、シャイターンを神格化し崇拝し始めたのです。今日、シャイターンへの崇拝をサタニズム、シャイターンを崇拝する人をサタニストと呼びます。サタニストはシャイターンを神と見なし崇拝します。

サタニズムの歴史は中世にまで遡ります。魔術師たちは14世紀から16世紀にかけて、シャイターンを崇拝したとして罰せられていました。サタニズムはまずキリスト教の教会で現れ広まっていったのです。サタニズムは人間を迷信と悪事へと導く欧米の風潮です。サタニストたちは人間を、アルコールや覚せい剤、命あるものを殺すことといったような人間性に反した行為へと導きます。サタニストの儀式では人間や動物が虐待され拷問を加えられます。時にはそれは死という結末を迎えることすらあります。しかし宗教が共通した目的としているのは、人々の幸福や安らぎに満ちた生活を守ること、社会の発展を助けることなのです。





単元の復習



1. 被造物の共通点や相違点を示す表を作りましょう。
2. 被造物をどのように区分できるか考えてみましょう。目に見えない被造物の名前を挙げましょう。それらをなぜ、私たちは見ることができないのでしょうか。
3. 天使たちの特徴とは何でしょうか。
4. 天使を信仰することは、私たちの行動にどのような影響を与えるでしょうか。
5. 私たちの周囲には、ジンをどのように捉えている人々がいるのでしょうか。人々はなぜ、このような迷信に惑わされるのでしょうか。調べてみましょう。
6. サタニズムはなぜ、誤った信条なのでしょうか。説明してください。



確認のための問題



- 下記の項目の中でどれが天使たちの特徴でしょうか。
 - A) 光から創造されたこと B) 食べること、飲むこと C) 男女の違いがあること
 - D) 結婚すること E) 年をとること

2. 人の善行や悪行を記録する役割を担う天使は、下記の項目の中でどれでしょうか。
 - A) ムンカル・ナキル B) 守護天使 C) キラーマン・キャーティビーン
 - D) ジブラーイール・イスラーフィール E) ミカーイール・アズラーイール

3. 下記の項目の中でどれが天使たちの役割ではないでしょうか。
 - A) アッラーにイバーダを行うこと B) 啓示をもたらすこと
 - C) 人間を尋問にかけること D) 人間を助けること
 - E) アッラーに従うこと

4. 下記の項目の中でどれがジンの特徴ではないでしょうか。
 - A) 目に見えないこと B) 信仰を持つものがあること
 - C) 信仰を持たない者がいること D) 火から創造されたこと
 - E) 啓示をもたらすこと

5. 下記の項目の中でどれが迷信ではないでしょうか。
 - A) 占いをさせること B) サタニズム
 - C) まじないを行うこと D) 邪視のためにドゥアーを行うこと
 - E) 魔術を行わせること